



境港市議会だより

# つなぐ

第26号

2022年8月1日発行  
鳥取県 境港市議会



令和4年5月臨時会・6月定例会(議決結果・令和4年度補正予算)..... P 2  
一般質問..... P 5  
令和4年度境港市一般会計補正予算(第2号)に対する附帯決議について... P19

豊漁に沸く 境漁港・魚市場・直売センター

# 令和4年 5月臨時会・6月定例会(議決結果)

境港市議会では、5月30日に臨時会が開かれ、続いて6月7日から22日間の会期で6月定例会が開かれました。6月定例会では「令和4年度境港市一般会計補正予算(第2号)」、「境港市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用等についての市費負担に関する条例の一部改正」など条例6議案および「市道の路線の認定について」などその他2議案、「固定資産評価審査委員会委員の選任について」など人事2議案が上程されました。審議、採決の結果、議案はすべて原案のとおり可決されました。

また、「陳情書等の電子的提出についての陳情」など陳情4件のうち2件は採択、1件は不採択、1件は閉会中の継続審査となりました。

その他、「令和4年度境港市一般会計補正予算(第2号)に対する附帯決議」など委員会提出議案2件が原案のとおり可決されました。

議決結果はP2、3に掲載しています。また市議会ホームページでもご覧いただけます。一般会計補正予算から主な事業をP4で紹介します。

## 委員会での質疑・意見

本会議に上程された主な議案や陳情は、会期中に開催される各委員会に付託され審議されます。委員会には、常任委員会(予算委員会、総務民教委員会、経済厚生委員会)と、議会運営委員会および3つの特別委員会があります。今回は、常任委員会での協議内容の一部を紹介します。

### ■ 予算委員会

「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業」については、対象世帯と支給方法が住民税非課税世帯(プッシュ型)と家計急変世帯(申請型)と2種類あり、家計急変世帯(申請型)について市民へ分かりやすい情報提供を行い、申請漏れののないよう十分な周知をはかること求めるとの意見がありました。

### ■ 総務民教委員会

「パートナーシップ宣誓制度の導入に伴う関係条例の整備に関する条例」については、パートナーシップ宣誓制度の周知をはかるため、どのように広報を行うのかとの質疑に対して、「制度を行使して受けられるサービスなどを広報するだけでなく、性的マイノリティへの理解を深めていただけるよう努めていく。」との答弁がありました。

### ■ 経済厚生委員会

「水木しげる記念館条例」について、新しい施設になった場合に入場料金の変動があるか、市長のみの権限とされる不服申し立てに対する決定や目的外使用の許可についてどのようなケースを想定しているかなどの質疑があり、水木しげる記念館は利益の出る可能性がある施設であり、利益が出た場合などの取り扱いを条例で規定するか協定に盛り込む必要があるとの意見がありました。

賛成：○ 反対：× 継続審査：△ (注) 賛否状況は全て案件に対する各議員の賛否状況を記載しています。

自由未来							きょうどう					境港市議会公明党議員団		無所属
永井章	荒井秀行	景山憲	加藤文治	吉井巧	松本晶彦	伊藤康弘	米村一三	岡空研二	森岡俊夫	平松謙治	柊康弘	田口俊介	足田法行	安田共子
×	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○



## 令和4年5月臨時会・6月定例会 議決結果一覧表【全会一致で議決したもの】

会議	区分	番号	案 件 名	議決結果
5月臨時会	市長提出議案 予 算	第38号	令和4年度境港市一般会計補正予算（第1号）	原案可決
		第39号	令和4年度境港市駐車場費特別会計補正予算（第1号）	原案可決
	条 例	第36号	専決処分の承認を求めることについて【境港市税条例等（一部改正）】	承 認
		第37号	専決処分の承認を求めることについて【境港市国民健康保険税条例（一部改正）】	承 認
		第40号	境港市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決
6月定例会	人 事	第41号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意
		第42号	固定資産評価員の選任について	同 意
	予 算	第43号	令和4年度境港市一般会計補正予算（第2号）	原案可決
	条 例	第44号	境港市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用等についての市費負担に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
		第45号	境港市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
		第46号	重要な公の施設の指定に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
		第47号	パートナーシップ宣誓制度の導入に伴う関係条例の整備に関する条例制定について	原案可決
		第48号	境港市地方活力向上地域等における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
		第49号	水木しげる記念館条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	その他	第50号	市道の路線の認定について【外江138号線】	原案可決
		第51号	工事請負契約の締結について【市営住宅渡団地エコ改善工事（二期工事）（建築）】	原案可決
	委員会提出議案	第1号	少人数学級・教職員定数の改善を求める意見書の提出について	原案可決
		第2号	議案第43号 令和4年度境港市一般会計補正予算（第2号）に対する附帯決議	原案可決
陳 情	第3号	陳情書等の電子的提出についての陳情	採 択	
	第4号	国の「水田活用直接支払交付金」の見直しの白紙撤回を求める陳情	閉会中の継続審査	
	第5号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2023年度政府予算に係る意見書採択の陳情	採 択 意見書送付	

※6月定例会では、このほか報告が9件ありました。

## 令和4年6月定例会 議決結果一覧表【賛否の分かれたもの】

区分	番号	案 件 名	議決結果
陳 情	第6号	西部広域行政管理組合一般廃棄物処理施設整備基本構想の見直しを求める陳情	不 採 択

# 令和4年度一般会計補正予算



## 住民税非課税世帯等に対する 臨時特別給付金事業

これまで臨時特別給付金を受給していない  
住民税非課税世帯や新型コロナウイルスの影響で収入が  
減少した家計急変世帯に1世帯あたり10万円を給付する。  
(福祉課に相談の上、申請)

**6,195万円**



## 障がい児介護特別支援金 給付事業

特別児童扶養手当の受給資格を有する、  
ひとり親世帯に対し、  
1世帯あたり10万円の支援金を給付する。

**190万円**



※画像は第1弾「さかいみなと応援券」

## 第2弾 地元で買おう！食べよう！ さかいみなと応援券事業

燃油や原材料費の高騰、商品価格などの値上げなどで  
市民や事業者に大きな影響が出ていることから、  
「さかいみなと応援券」を全市民に  
一律1人5千円分を配布する。

**1億7,769万円**



## 公園維持管理費

雨漏りが発生している境台場公園の  
灯台を改修する。

**1,514万円**



## 消防団の魅力発信事業

若年層をターゲットにした  
消防団の魅力を紹介する動画を作成し、  
イベント会場での上映やSNSでの発信を行い、  
消防団活動を広く伝え、新規団員獲得につなげる。

**200万円**

# 市政を問う

議員13人が一般質問を行いました。

## 【一口メモ】

一般質問には、所属する会派を代表して行う「代表質問」（境港市議会では3人以上の会派のみ）と、議員個人の立場・観点で行う「各個質問」があります。

議会だよりの質問ページは、質問を行った1議員については最大1ページとしていますが、上記の「代表質問」と「各個質問」では性質や質問時間が異なるため、「代表質問」を行う場合は会派内でページ配分をしています。

各議員は掲載した以外にも質問していますが、議会だよりの場合は、スペースの都合上、議員本人が質問と答弁を要約しています。

6月議会はすべて「各個質問」です。

ページ	質問事項	質問議員
6	①子ども・家庭の支援について ②コロナ禍の影響における孤独・孤立の支援について	足田 法行
7	①環境対策について ②地域交通維持に向けて今後の対応について	景山 憲
8	①児童・生徒とともにつくる教育環境について ②島根原発の不適切事案について～原因究明と再発防止求め、稼働容認は撤回を ③一般廃棄物処理基本計画について～ごみリサイクルと減量化のさらなる推進を	安田 共子
9	①ねんりんピックについて ②道路交通環境整備について	平松 謙治
10	①通学路の安全対策と学校周辺の管理計画について ②予防接種について	永井 章
11	①市職員の人事施策について ②学校給食について	米村 一三
12	①今後の境港市の人口について ②境港市まちづくり総合プラン(第10次境港市総合計画)について	伊藤 康弘
13	①「子育てするなら境港」環境づくりについて ②自治会のゴミ集積場問題について	松本 晶彦
14	①犯罪被害者支援について ②公共施設について	柊 康弘
15	①天皇道路渡地区のケヤキ伐採について ②市民交流センター(みなとテラス)の建築計画から実施設計までの推移について	加藤 文治
16	①観光案内サイン整備事業について ②Seaグルメ全国大会について	吉井 巧
17	①難聴者支援について ②教育環境の整備について～放課後児童クラブのあり方について～	田口 俊介
18	①公共工事の入札方法について ②介護予防・医療予防について	森岡 俊夫

議事録は議会事務局やホームページで閲覧できます。



# 児童虐待における伴走型支援は



公明党  
足田 法行 議員

福祉保健部長

## 早期発見に努め関係機関との連携で支援する

〔足田〕本市の要保護児童などへの支援の取り組みは。〔市長〕情報提供があった児童には、アセスメントを行った上で、関係機関との協議で支援方針を定め、具体的な支援を行っている。児童相談所による指導措置の市町村への委託は、「児童家庭支援センター」に指導の一部を委託している。



児童虐待防止のための  
家庭支援の充実を

〔福祉保健部長〕本市では、早期発見に努めていて、母子手帳の交付や乳幼児健康診に加え、新生児や未就学児童の家庭訪問などの機会を通じて、何か気にかかることがあれば、そこからスタートする。月2回の検討会の中で、必要に応じて関係機関との連携をはかって、伴走型支援を行っている。

# 全庁的な取り組みで、福祉人材を

市長

## ICT推進による省力化で、福祉人材を確保

〔足田〕ひきこもり支援は、NPOの育成・強化を県や近隣市町村と連携しながら、市が積極的にかかわることが必要に思うが、どうか。〔市長〕今後ひきこもり支援は、訪問による支援を継続しながら、本人だけでなく、家族も含めたトータル的な支援を

鳥取県が制定を目指す 「家庭あんしん支援愛条例」(仮称) のポイント	
◎対象者：ヤングケアラー、老老介護、「8050問題」の当事者ら	
◎県、市町村、学校、NPO法人などの役割を明記 〔想定例〕 ▶当事者の把握と関係機関への橋渡し、相談活動など	
◎支援に必要な施策の展開 〔想定例〕 ▶対象者への情報提供、施設などへ一時的に入所し休息する「レスパイトケア」の提案 ▶声を上げられない人への積極的な働きかけ	

ひきこもりなど複数の問題も対象にした条例制定されれば全国初

行っていく。また、高齢、障がい、疾病、ひきこもりなどにより支援が必要な方に対して地域全体で取り組む鳥取県の「家庭あんしん支援愛条例」の制定についても動向を注視していきたい。

〔足田〕デジタル・ICT化を推進し、省力化をはかる中、全庁的な取り組みで、福祉人材を確保してもらいたい。〔市長〕議員が言うように、デジタル・ICTを活用して省力化をはかることで、職員が市民に寄り添う時間ができるよう、また福祉人材が確保できるよう職員全体の中でデジタル・ICT化を推進していきたい。

# 新規建築物へ 太陽光発電設備設置を

市長

新規建築物などでは  
施設ごとに検討が必要



会派 自由未来  
景山 憲 議員

〔景山〕本市の環境基本計画が新たに策定され、今後5年間で環境改善に取り組



本市の新環境基本計画書

む事業などが示された。行政が率先して具体的に取り組み、その姿勢が「どのよう地域に浸透していくのか」が課題である。

公共施設の屋根など未利用スペースへ自家消費型太陽光発電導入検討とある。どのように進めるのか。これまでは、「導入は考えていない」との見解であったが、既存施設への具体的方針、今後の新規建築物などへの

方向性を明確にすべき、見解は。

〔市長〕「脱炭素先行地域」の計画では、荒廃農地と公共施設の屋根などへ初期投資ゼロ型太陽光発電施設の設置を想定している。本年度実施する実現可能性調査で設置対象施設を検討。新規建築物などでは施設ごとに手法を検討する必要があるが、使用電力は既存施設と同様、再生可能エネルギーとする考えである。

# JR 境線の存続に向けて 状況把握を

市長

利用促進へ取り組みを講じ  
路線維持に努める

〔景山〕JR西日本は、1キロあたり1日の平均乗降者数2千人未満の利用者の少ないローカル路線の収支状況を発表した。県内では山陰線の一部が赤字であり、沿線自治体では路線存続を求める声が相次いでいるとの内容であった。JR境線の現況について



JR 境線：上道駅（一反木綿駅）の様子

把握できているのかうかがう。境線は、主に高校生の通学、通勤者の交通手段として欠かせない。今後も路線維持に向けて、的確な状況把握と利用者への支援策など必要な対応の検討を、見解は。

〔市長〕この度のJR西日本の公表には、JR境線は含まれていない。令和

元年度以前は、1キロあたり1日平均2700人前後で推移していた。コロナ禍では2043人まで落ちていた。今後は回復すると見込んでいるが、状況把握に向けて、利用促進につながる取り組みや支援策を講じて路線維持にも努める。

# 制服や校則に生徒の意見反映を



無所属（日本共産党）  
安田 共子 議員

教育長

## アンケートや議論を行い 制服や校則を見直し

【安田】制服スラックス選択制、生理用品配置の検討は。

【教育長】一中で生徒の意見からアンケートを実施し、制服の改変に向けて協議を重ね、来年度新入生から新たな制服を導入予定。他校でも検討を始めた。生理用品は可能な学校で試験的にトイレへの配置を進めている。

【安田】学校の規則について、生徒の意見を聞く取り組みは。

【教育長】二中では体操服や靴下の色について生徒同士で議論を重ね、新たな校則が制定された。

# 島根原発稼働容認撤回を

市長

## 対策徹底、原因究明、再発防止を求めた

【安田】島根原発に下請け作業員が身分



不適切事案が続く島根原発  
写真提供：中国電力（株）

証を書き換え不正に入構した事案は、再稼働の条件（安全文化の醸成、法令順守）違反にあたる。再稼働容認を撤回するか、原因究明、再発防止ができるまで再稼働手続きをストップさせるべきでは。

【市長】中電と原子力規制事務所に、核セキュリティ対策の徹底と原因究明、再発防止対策について県を通じて申し入れた。現時点では手続きのストップなど特別な措置は考えていない。

# 一般廃棄物処理基本計画について

市長

## リサイクルを推進し 今年度は組成調査を行う

【安田】ごみのリサイクル推進を。  
【市長】紙おむつ回収



生ごみや紙おむつはリサイクルへ

収は広報や福祉施設への働きかけを進め、生ごみのグループ回収は継続し、食品ロス削減など啓発にも注力する。

【安田】分別への協力を促すため、可燃ごみ組成調査を定期的にするべきでは。

【市長】定期的な組成調査は考えていないが、計画改定にあわせ実施する。

【安田】ペットボトル削減へ公共施設に給水器設置を。

【市長】取り組みを研究したい。



# ねんりんピックの開催種目は？

市長

## ソフトバレーボールとeスポーツ（新種目）



eスポーツの大会風景  
(カニノケンカ -Fight Crab-)  
写真提供：鳥取県eスポーツ協会

〔平松〕令和6年度に鳥取県で開催されるねんりんピックにおいて、本市でどのような競技が行われるのか。



会派 ぎょうどう  
平松 謙治 議員

〔市長〕県が各競技団体と協議の上、本市においては、ソフトバレーボールと新種目eスポーツの候補地となり、それを内諾した。

〔平松〕候補地選定において、本市から各競技団体へ直接的な働きかけを行ったのか。

〔福祉保健部長〕当初、本市では、ヨット、剣道、健康マージャンの3つの種目の受け入れを県に回答した。市から直接団体へ働きかけは行っていない。県から、剣道は競技団体が米子市での開催を強く要望され、ヨットは団体から回答がなかったと聞いており、健康マージャンは県内のバランスから東部で開催するとの回答があった。競技や文化交流種目以外の協賛イベントについては、市として積極的に取り組むたいと思っている。

〔平松〕西工業団地入口の交差点で渋滞や危ない運転を見かける。交通環境の改善を望むが、どうか。

# 西工業団地入口の交差点改良を！

建設部長

## 地元からの要望もあり改良の方向で検討中

〔市長〕改善策として旧水産高校横の交差点と同様に、既存の道路幅員で停止線の道路移動や右左折の道路表示を設置するなど警察署と協議



改良が望まれる西工業団地入口交差点

〔建設部長〕地元自治会からも要望が出ており、年度当初より、協議を進めている。この交差点は、大型車両・トレーラーの利用が多く、現状の道路幅員では、課題も残る。今後、西側に右折レーンを設置する方法で議論を進める中でガードレールなどの安全対策についても検討していきたい。

# 通学路の安全対策を

教育長 関係課と対応を協議していく



会派 自由未来  
永井 章 議員

【永井】ＪＲ中浜駅と幸神町の間の道路は、多くの児童が登下校に利用して

いる。多くの児童が利用する通学路に、ガードパイプなどの設置が必要ではないか。

【教育長】通学路の安全対策は、平成21年度より関係機関と連携し、「交通安全推進会議」で毎年危険箇所を合同で点検し、対応している。指摘の箇所については、歩車分離の道路

であり、ガードレール設置は関係課と協議し、他の危険箇所と優先順位を考慮しながら、対応を協議していく。

【永井】優先順位の判断は。【建設部長】毎年7、8月ごろ、各学区で警察立ち会いのもと、地元の方々と現地を見ながら対応を検討している。



集団登校の様子  
(中浜小学校区)

# 带状疱疹予防接種に補助をしては

任意接種であるが  
国の動向を注視する

市長

【永井】带状疱疹を予防し、また重症化させないためには予防接種が有効だと考える。带状疱疹の予防接種費用補助に対する考えは。

【市長】带状疱疹は、過去に水ぼうそうになった際に神経に潜伏していたウイルスが、疲労やストレスなどによる免疫力低下により再び活性化して、皮膚に痛みをとともなう水泡が生じる病気である。50歳頃から発症リスクが高まり、80歳ごろまでに約3分の1の人がかかると言われている。

50歳以上の人がワクチン接種を受けることで、市報などで周知している。ワクチン接種は任意で全額自己負担だが、現在、厚生労働省においてワクチンの効果や安全性など定期接種化に向け議論中であり、国の動向を注視していきたい。



带状疱疹予防接種へ補助を！

# 市職員が永続的に勤務できる環境を

市長

風通しの良い、明るい職場環境づくりが重要



多くの職員が働く境港市役所



会派 ぎょうどう  
米村 一三 議員

【米村】県内の企業に就職後、3年以内の離職者が多いことから、県は調査の上で対策を検討するがあった。本市職員で

も今春の早期退職者が例年より多かったと受け止めた。退職理由を正確に把握し、早期退職が発生しないよう配慮する必要はないのか。

【市長】本市職員の採用後3年間の離職率は、この10年間で約6.3%であり、県の調査より低い数字となっている。

本市では早期退職の申し出があった際には、人事担当が当該職員と面談し、退

職の理由や経緯などを聞き取り、私も報告を受けている。

就任以来、職員に対し、笑顔あふれる職場をめざすとして、風通しの良い、職員が明るく勤務できる職場環境が重要と考えている。人事評価制度の中での面談、勤務状況等報告書により、職員の健康状態や仕事の状況を聞き取り、職場環境改善の参考としている。

# 給食費の現況と無償化への考えは

教育長

給食費については、現行制度を継続したい

【米村】学校給食の食材である、小麦や油脂類などの大幅な値上がりで、すでに給食費の値上げを実施あるいは、検討中の自治体がある。本市の現況はどうか。

【教育長】多くの食材の値上げが進み、学校給食はもとより、子育て世帯への



本市の小中学生の給食をまかなう給食センター

家計負担も心配されることから、本市は本年度も給食費を据え置くこととした。

【米村】県内でも、大山町など3町で給食費の全額補助を実施している。本市も子育て支援の充実策として無償化の早期実施を求める。

【教育長】学校給食法に基づき、給食費は保護者負担が原則

となっている。

本市では、就学援助認定を受けている家庭、学校給食を受ける児童生徒が3人以上いる家庭の3人目以降は、給食費を全額免除する制度となっている。県内他市では一部免除や補助が多く、給食費が県内で最も安価であることから、現行制度を維持する。



# 2025年に向けた移住定住施策は？

市長

## 現行支援施策の当面の継続を予定



イキイキ暮らし さかいみなど  
(YouTube チャンネル ふるさと鳥取県定住機構)

【伊藤】「令和2年2月改定版境港市人口ビジョン」の中で、2025年には2015年の本市



会派 自由未来  
伊藤 康弘 議員

人口34,174人から8%減となる31,478人という社人研の人口推計が出されており、本市でも深刻な人口問題となっている。2025年に向けた移住・定住施策について見解をうかがう。

【市長】現在本市に移住・定住される方に対して、境港市地方創生移住支援金をはじめ、空家利活用移住定住奨励金や移住者を対象に補助額を上乗せしている境港市創業支援補助金など、さまざまな支援施策を展開している。昨年度からは専任の移住相談員を配置している。また、本年度からは新たに若年層への支援策として新しいふるさとでのライフステージ支援補助金を創設している。7月中には移住者交流会の開催もあり、引き続き移住・定住の促進に取り組んでいく。

# 障がいのある大人への支援体制は？

市長

## 本市として主に4つの施策を実施

【伊藤】まちづくり総合プラン（第10次境港市総合計画）の具体的施策の中で『障がいのある方が地域で安心して暮らせる社会の構築』を掲げているが、障がいのある大人に対して、今後どのような施策を検討しているかがうかがう。

【市長】まちづくり総合プランにおいては、生活支援の充実・就労支援の充実・障がいへの理解促進・精神障がい者の自立支援の充実と大きく4つの施策を行う。生活支援では障がいのある方を介護している家族が急病の場合などの受け入れ施設を拡充する。また就労支援については

就労継続支援事業所のパンフレットを改訂する。障がいへの理解促進については障がい者団体や福祉サービス事業所と連携した福祉イベントを検討している。そして精神障がい者の自立支援としては当事者同士の交流を目的とした当事者会を今後も定期的に開催していく。



障がい福祉サービス利用の手引き

# 特別支援 コーディネーターの育成

教育長

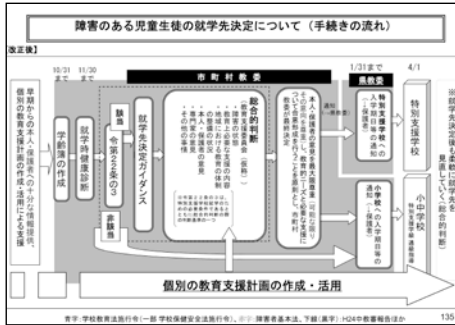
早い段階で後継者育成と  
複数配置を検討する



会派 自由未来  
松本 晶彦 議員

〔松本〕特別支援、  
配慮の必要な子ども  
へは、特別支援コー

ディネーターが幼保  
と小学校の橋渡しの  
な役割を担ってい  
る。各園を回り観察  
が必要な児童に応じ  
て保護者と面談する  
など、就学支援を  
行っている。その結  
果、小1プロブレム  
（保育園や幼稚園を  
卒園した後に、子ど  
もたちが小学校での  
生活や雰囲気になか  
なかなじめず、落ち  
着かない状態が数カ  
月続くこと）や不登  
校は減少しているも  
の、この機能を維  
持、拡大するために



特別支援コーディネーターの役割図

さらにコーディネー  
ターの確保が必要で  
はないかと思うが、  
どうか。  
〔教育長〕就学に関  
する教育相談は増加  
しており、審査対象  
も増加している。教  
育相談だけでなく  
園・学校経営への助  
言、特別支援教育主  
任への支援など多岐  
にわたる。早い段階  
での後継者育成と特  
別支援コーディネー  
ターの複数配置につ  
いて検討する必要が  
あると考えている。

## ゴミ集積場問題について

市長

監視カメラを助成対象に  
加えることを考える

〔松本〕指定された  
日時に出さない、分  
別回収できないもの  
を持ち込む、軟プラ  
用のピンクの袋に生  
ごみを入れるなど、  
ごみ出しマナーを守  
らない事例が多い。  
歩道にある集積場で  
はカラス除けのネッ  
トをかけず、カラス

に荒らされて歩道に  
散乱している。この  
ようなルールを無視  
した悪質な不法投棄  
を抑制するために集  
積場に設置する監視  
カメラの購入代金を  
集積ボックスと別に  
助成できないか。  
〔市長〕撮影された  
映像の管理方法など  
を十分に検討した上  
で要綱改正を行い、  
監視カメラを助成対



左：可燃ごみの日に投棄された  
缶とプラスチック  
右：カラスにより道いっぱい広がったゴミ

象に加えたいと考  
える。  
〔松本〕路上には集  
積ボックスが設置で  
きず、集積場の確保  
が困難で市の管理す  
る土地に集積場を設  
置することは可能  
か。  
〔市民生活部長〕自  
治会より相談があれ  
ば設置の相談に応じ  
る。

# 犯罪被害者等支援条例を制定しては

市長

鳥取県に対し県条例制定を要望している



犯罪被害者等支援  
シンボルマーク  
「ギョットちゃん」



会派 きょうどう

柁 康弘 議員

〔柁〕2004年に  
成立した「犯罪被害

者等基本法」では、地方自治体の責務として「地方公共団体は、基本理念にのっとり、犯罪被害者等の支援等に関し、国の適切な役割分担を踏まえて、その地方公共団体の地域の状況に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する」と記されている。これを受けて、鳥取県は「犯罪被害者等支援条例」は現場に近い市町村での制定が望ましいとの見解で、県内全市町村に要請

に回られたとのことだが、本市の見解は。〔市長〕県から見舞金の支給を目的とした「犯罪被害者等支援条例」を制定するよう昨年8月に要請があった。本市からは県に対し県条例の制定を要望するとともに、国に対し犯罪被害者等給付金制度の拡充を要望している。新たな条例制定の予定はないが、見舞金について他の自治体を参考にしながら実施を検討する。

# 男性トイレに サニタリーボックスを

市長

まずは多目的トイレに設置する

〔柁〕日本各地で、公共施設の男性トイレにサニタリーボックスを設置する自治体が増えている。前立腺がんや膀胱がんを患い、手術後に排尿をコントロールすることができなくなり、おむつや尿漏れパットを使用する

人が多く、また、がん患者に限らず本市においても高齢者など、おむつや尿漏れパットを使用している方は少なくないと思う。市役所や公民館など男性トイレにサニタリーボックスを設置してはと考えるが、見解をうかがう。

影響で、日常的におむつや尿漏れパットを使用している人が外出先で使用済みのおむつなどを廃棄することが困難なため、設置の動きがある。まずは、多目的トイレにサニタリーボックスを設置し、おむつなどが廃棄可能であることなどをトイレ入り口や扉などに表示する。



市役所本庁舎1階  
多目的トイレ



# ケヤキ伐採を 事前に聞いていたのか

市長

地域住民の理解を得て  
事業着手したと認識



会派 自由未来  
加藤 文治 議員

〔加藤〕県道47号線と246号線の付加車線延伸にともなう道路拡張工事で街路樹のケヤキを一齐に

伐採され、市民からは惜しむ声も聞かれる。また一方では、渋滞が頻発し、事故も多発していたことから、拡幅により沿道の住民の声も多しと聞いている。しかしながらいきなり根元から107本のケヤキがバツサリと切られ、もう少し計画的に移植ができなかったものなのかと思う。ケヤキを一齐に伐採することを事前に聞いたのか、ケ



無残に伐採されたケヤキ並木

ヤキ並木に代わる街路樹を植樹する計画があるのかどうか。〔市長〕県道渡余子停車場線の改良工事は、慢性的な渋滞に加え、貨客船ターミナル完成後の渋滞が予想されることから、本市から鳥取県へ要望していた。住民の方々の理解をいただいた上で、事業着手に至ったと認識している。新たに植樹する計画はないと聞いている。

# 完成予想図にあった 花壇がないが

市長

花壇の撤去を行い  
段差のない歩道とした

〔加藤〕ホールから正面エントランスを出て突き進むと、完成予想図には計画されている車道と歩道沿いの花壇がなく なっている。イベントが終了し観客が一齐に外に出た時、段差がわからず落ちる危険があると思うが、そのままなのか、



みなとテラス正面アプローチに設置された  
注意喚起プランターとポール

これから注意喚起をする物を取り付けるのか、なぜ花壇がなくなっているのか、その経緯と対策を取る考えがあるのか、見解をうかがう。〔市長〕車道と歩道の段差については、歩車道の境界部に、プランターなどを設置し、歩行者への注意喚起をはかることとしている。花壇の

撤去の経緯については、当初、花壇とモニュメントは残すこととしていたが、その後、モニュメントの作者である倉澤実氏にゆかりのある浜田市の倉澤實記念館に移設が決まったことから、モニュメントと一体となっていた花壇も撤去を行い、段差のない歩道を確認した。

# 警察に道路使用許可は申請したか

産業部長

申請はしていなかった、反省している



会派 自由未来  
吉井 巧 議員

【吉井】水木しげるロードと市場との相互誘客をはかるための誘導案内看板が、

4月29日の強風で転倒した状況説明を。

【市長】「倒れている」と連絡のあった箇所を確認し、危険回避のため一時的に倒し、翌日には土嚢を置き応急転倒防止対策を講じた。

【吉井】案内看板は、公道に設置してあったが、警察への道路使用許可は申請していたか。

【産業部長】申請はしていなかった。【吉井】本市の看板設置の取り決めは。



水木しげるロードと境港水産物地方卸売市場の相互誘客をはかる強風で倒れた案内看板

【産業部長】産業部では、看板設置の取り決めは認識していません。反省している。

【吉井】この事業が随意契約で行われた経緯を。

【産業部長】デザイン面で水木プロとの調整に難色を示された市内事業者が断つたため、水木プロとのデザイン調整がスムーズにできる米子の企業1社に絞られたので、随意契約となった。

# Sea 級グルメ 全国大会への考えは

市長

令和6年度境港大会にしっかり準備していく

【吉井】みなとオアシス境港として、「第13回Sea級グルメ全国大会in八幡浜」への本市のかかわり方を問う。

【市長】「Sea級グルメ全国大会」は、みなとオアシスの事業の中でも多くの集客が見込まれるイベントで、本市も誘致し、一度は本市での開催が決まったが、コロナ禍により中止となった。改めて令和6年度に、本市での開催が内定している。

【市長】「さかなと鬼太郎のまち境港」を県内外に発信し、本市の水産業と観光業の持続可能な発展をはかるため、令和6年度に内定している境港大会の開催に対して、市長の所見を。



日本中のみなとまちの旨いもんが大集合！  
あなたの1票がSea級グルメNo.1を決定する！！  
(みなとオアシスホームページより)

# 「聞こえの総合支援」の体系化を

市長

東京都港区の事例を参考に研究したい



早期発見から、補聴器購入、アフターケアまで含めた「聞こえの総合支援」を！



公明党

田口 俊介 議員

〔田口〕身体障害者手帳取得要件にならない18歳未満の児童に対する補聴器購入

助成制度の内容と活用の実態は。

〔市長〕補聴器などの購入や修理または再購入に係る費用の一部を鳥取県と連携して助成しており、令和3年度には購入が2件、修理が1件あった。

〔田口〕この制度について、市ホームページでも予算書でも探すことができない状態。必要な方に届かなければ意味がない。改善を求める。〔福祉保健部長〕早

急に改善する。

〔田口〕18歳以上の軽度・中等度難聴者への補聴器購入費助成について、単に購入費用の助成だけでなく、難聴の早期発見や補聴器購入前の相談、アフターケアまでを含めた「聞こえの総合支援」事業として体系化することが肝要と思うが。

〔市長〕「聞こえの総合支援」については、先進地である東京都港区の事例を参考に研究してみたい。

# 学校外施設の早期の校内移設を

教育長

タイムスケジュールを立てアプローチしたい

〔田口〕市内公設の児童クラブの安全面、衛生面、環境面からの施設整備状況をどう把握・評価し、対応されているか。〔教育長〕各クラブで、国の補助を活用した感染症予防対策を徹底。安全面や環境面で、一部老朽化している学校外施設



現在、学校外にある2つの児童クラブ。老朽化もあり、早期の校内移設が望まれている。

は適宜必要な補修で対応している。緊急時の対応を考慮した場合、学校内施設でのクラブ運営が最も良い方策と考えている。今後は、空き教室の状況を確認し、校内への移転について検討したい。

ある。市長部局としても予算配分を。〔市長〕子ども育ちにかかわることなのでしっかり対応したい。〔田口〕学校外施設について早期の移設に向けた検討を。〔教育長〕タイムスケジュールを立て、移設に向けてアプローチをしていきたい。



# 総合評価落札方式の メリットは

市長

高い技術力で公共工事の  
品質確保をはかる



焼却炉部分が取り壊される  
境港市清掃センター



会派 きょうどう

森岡 俊夫 議員

【森岡】総合評価方式は、3千万円以上の建築工事と2千万円以上の土木工事と規定されている。総

額6億5千万円の清掃センター解体工事には適用されていないが、その説明を。  
【建設部長】今回は、技術提案を受けるので、総合評価方式を適用していない。  
【森岡】本市の試行要領には適用除外の規定がないが、他市同様に除外規定を定めておくべきではないか。

てDBO方式という手法はなじまないのではないか。  
【市長】運営者の水木プロダクションの意向が反映できる方式としてこの方法が一番望ましいと判断した。  
【森岡】設計・施工には、地元業者を優先してもらおうようお願いすべきではないか。  
【市長】当然、市として、施工には地元業者を使うよう言わなければならない。

# 医療・薬の意識啓発をはかっているか？

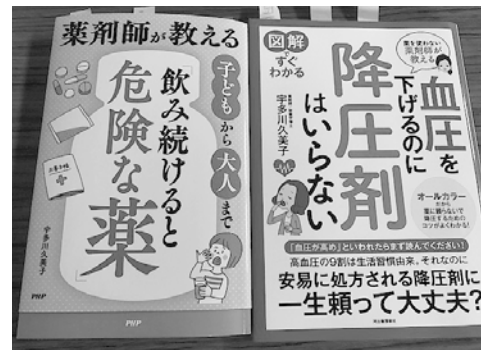
市長

薬の重複を抑止し  
適正な服用の周知をはかる

【森岡】薬剤師の宇田川久美子さんの「飲み続けると危険な薬」という本には、薬は食品添加物と同様、石油から作られる化学合成品で飲み続けると肝臓や脳などへの副作用の危険が増大することが掲載されている。がんや認知症への影響など、病気に對する予

防意識や薬に関する情報などを市民に周知し、医療費・介護費削減のため、市民の医療に対する意識啓発をはかっているか。また子どもの頃からの予防医療教育の充実が重要ではないか。

【市長】薬に頼らない生活が一番。鳥取県は健康寿命が全国的にも低い。予防が一番大事なので市民の先頭に立って健康づくりに取り組んでいく。  
【教育長】薬を使わなくても済む社会は大切。しかし、全てやめてしまうという見はない。適した使い方を子ども達に身に付け、毎日笑顔で健康に過ごせる学校となることを願っている。



「飲み続けると危険な薬」ほか  
宇多川久美子氏著

## 議案第43号 令和4年度境港市一般会計補正予算(第2号) 附帯決議【水木しげる記念館再整備について】

議案第43号「令和4年度境港市一般会計補正予算(第2号)」で計上された「水木しげる記念館再整備事業及び再整備費に係る債務負担行為」に関し、予算委員会において、執行部より、水木しげる記念館の再整備は「整備費用を市が調達し、設計・施工から維持・管理運営までを水木プロを含む共同事業者グループとの随意契約で行うDBO方式<sup>(※1)</sup>での実施を検討している」との説明がありました。

委員からは、本市が初めて取り組むことになるDBO方式による施設整備について、「計画について具体的な説明が不足している」、「DBO方式が最善であるとの結論には第三者の判断を仰ぐ必要がある」、「水木プロからの協力が必要な中で、最善の判断ととらえる」などさまざまな意見がありました。

委員会での議員間討議によってさらに議論を深め、最終的に一般会計補正予算については全会一致で可決しました。また、委員会での議論を踏まえ、附帯決議<sup>(※2)</sup>を提出し、本会議において全会一致で可決しました。

### 議案第43号 令和4年度境港市一般会計補正予算(第2号)に対する附帯決議(抜粋)

補正予算の執行にあたっては、次の事項に留意し、事業推進に取り組むよう強く求める。  
記

1. 債務負担行為の設定とはいえ、事業計画全体に係る内容等がしっかり示されていないことから、今後は各段階(基本協定、指定管理の協定など)に応じて議会へ適時報告すること。
  2. DBO方式により、水木しげる記念館の建設・運営が実施される場合、水木プロダクションを含む共同事業者グループと本市の協定においては、収支に大きな変動があった場合の取り決めに明確にすること。
  3. 水木しげる記念館の設計・施工等において、可能なかぎり地元業者を採用するよう求めること。
- 以上、決議する。

#### 【参考】

(※1) DBO (Design Build Operate) 方式

PFI (Private Finance Initiative) に類似した施設の整備・運営に係る事業方式の一つで、公共の所有下で民間の意見を取り入れながら、公共が施設を建設、所有し、運営期間中はノウハウを有する民間事業者が設立するSPC (Special Purpose Company) が運営を行う方式をいいます。

(※2) 附帯決議

議案などの議決にあたり、付随的に付けられる意見または要望の決議のことをいいます。

附帯決議を議決することで、議案の可否だけでは表すことのできない議会意思を表明することができます。ただし市長等に対しては、これを尊重する政治的、道義的な責務を負わせるにとどまるものであり、法的な拘束力を有するものではありません。(参考：地方議会運営辞典)



© 水木プロ



早く再会したい光景 2015年 撮影：大濱 博幸 様

## 『市民と議会の懇談会』を開催します ～皆さんのお越しをお待ちしております～

### ●とき・ところ

と き	と ころ	時 間
8月1日(月)	上道公民館	開会 午後7時30分 閉会 午後9時(予定)
8月2日(火)	余子公民館	
8月5日(金)	誠道公民館	
8月8日(月)	外江ふれあい会館	
	中浜公民館集会所	
8月9日(火)	渡公民館	
	境公民館	

(注) 新型コロナウイルスの感染状況により開催を延期あるいは中止する場合があります。予めご了承ください。

### あしがき

今年、マグロやイワシなどの豊漁が続きました。また、市民の暮らしを豊かなものにしていく、文化の殿堂である市民交流センターと市民図書館が7月に開館しました。さらに待望のみなと祭も開催され、コロナ禍で閉塞感があった境港も未来に向け、明るい兆しが見えてきました。

しかし、長引くコロナ禍、ウクライナへの侵略、それにとまなう物価高騰・円安により、市民生活に不安を感じている方は多いと思います。

この難局を乗り越えるには、市民の皆さまの声をしっかりと聴いて、それを政策として実現していくことが不可欠だと思います。

また、3つの港を擁し、ポテンシャルのある「さかなと鬼太郎のまち」境港において、未来に向けて次の一手を打つ時でもあります。今こそ、議会が一致団結して、前へ進めてまいりたいと思います。今後、市政への要望など議会に対して、市民の皆さまの声を寄せていただきますよう、ご協力よろしくお願いいたします。

(足田)

#### 【発行責任者】

議長 荒井 秀行

#### 【広報部会】

部長 吉井 巧

#### 副部長

足田 法行

松本 晶彦

森岡 俊夫

安田 共子

